



ちよこ

Adult Only
R-18

あれが気になる

お前

いい酒
だろ？

まあな：
お前にしては
いい線いってんじゃ
ねえか

ところで
本一当にもう
女は捨てたのかい？

あん？
当然だね

本当に？

いちいち煩いね
俺の事に口出しとは
いい度胸じゃ...

な

何だよ

シロ

×=|a...



呑み過ぎたか...?

前前から
気になって
たんだがよ

姐さんは
無意識かも
しれないけどねえ

クソ...
くらくら
しやがる



男

女

え

おはしより
作るのは
女だけだぜ



年齢退行した
みたいだなあ

あな
あな

ぐちゃっ

弁天娘のちっこさに
磨きがかかる！
ってな

いやー本当に
かわいい！！

闇慈

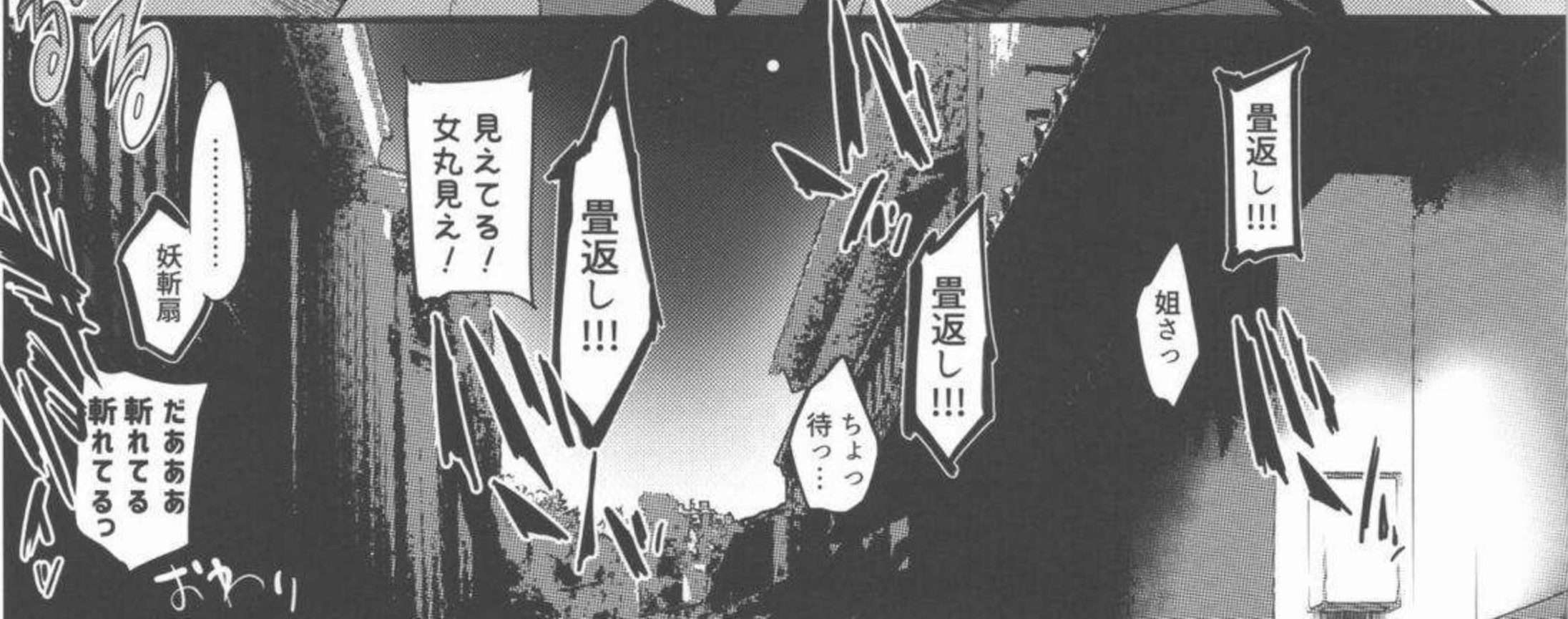
冥土へ行く
覚悟は出来てる
みてえだな……！

おっ



こりやまた
いい眺め……！

らららららら



畳返し!!!

姐さっ

畳返し!!!

ちよっ
待っ……

畳返し!!!

見えてる！
女丸見え！

妖斬扇

だあああ
斬れてる
斬れてるっ

おわり



大和撫子!

よっ!
弁天娘!

やはりお前を斬るべきだった

ちねも

俺の…
生きる目的は

父上や母上の仇を取る事
俺の目的はそれだけだ



……ははーん。
お前、料理
できないアルナ？

目的の為には
必要ない
だから女は捨てた……筈だ

君の喧は血を欲している。
その欲望に負けぬよう——

……五月蠅い

お前……
たしか、仇討ちしてんだっけ？
やめときな。
つまんねエよ。そんなもん。

五月蠅い

五月蠅い

俺は……！

俺は



俺は何をしている

俺

俺

俺

俺

チツ：
これじゃあ
足りねえ

もっと
仕込むか

ハハハ
ハハハ

そんなに
物騒なもん
ばっかり集めて

花とかの方が
よっぽど似合う
のにねえ

うるせえ
つてろ

しっかしお前
よくこんな場所
見つけたよなあ

お陰で暗器の
手入れもしやすい
つてもんよ

もし…や

復讐：
姐さんの生きる理由が
別の何かに変わったら

どうするの？

QA

あん？
何だよ

またしようも
ねえ事でも
企んでるのか？

企み？
違うね

あ…？

本能さ

!?



何言っ
てんだよ

な



…そうやって
擦り切れていく
所を見せられると

もつと
見たくなる



ずっと
見ていたいから

姐さんを
死なせたくない

よ
よせ

あ…っ

ア
ン



見せてよ

姉さんの全部

くき...

や...めろ...

いい...
いかげん...!



何だい

感じているのかい?



俺が怖いのか

嬉しいね



へえ...
その目
俺にも
出来るんだな



来るぞお前



来るな...



細いなあ...



カッ
カッ



俺をその目で

何だその目は

見せてよ

もっとよく

俺を



苦しいかい?

この...
どこ触って...



でも色っぽいよ
姐さん

見るな



見るな



ふ...やばいな

見るな





見るな...!

はぁ...

く...

はぁ...

はぁ

はぁ

おか



...本当に女を捨てたのかねえ

これは...

俺の...?



いや
これ以上
やりたい放題
には...!

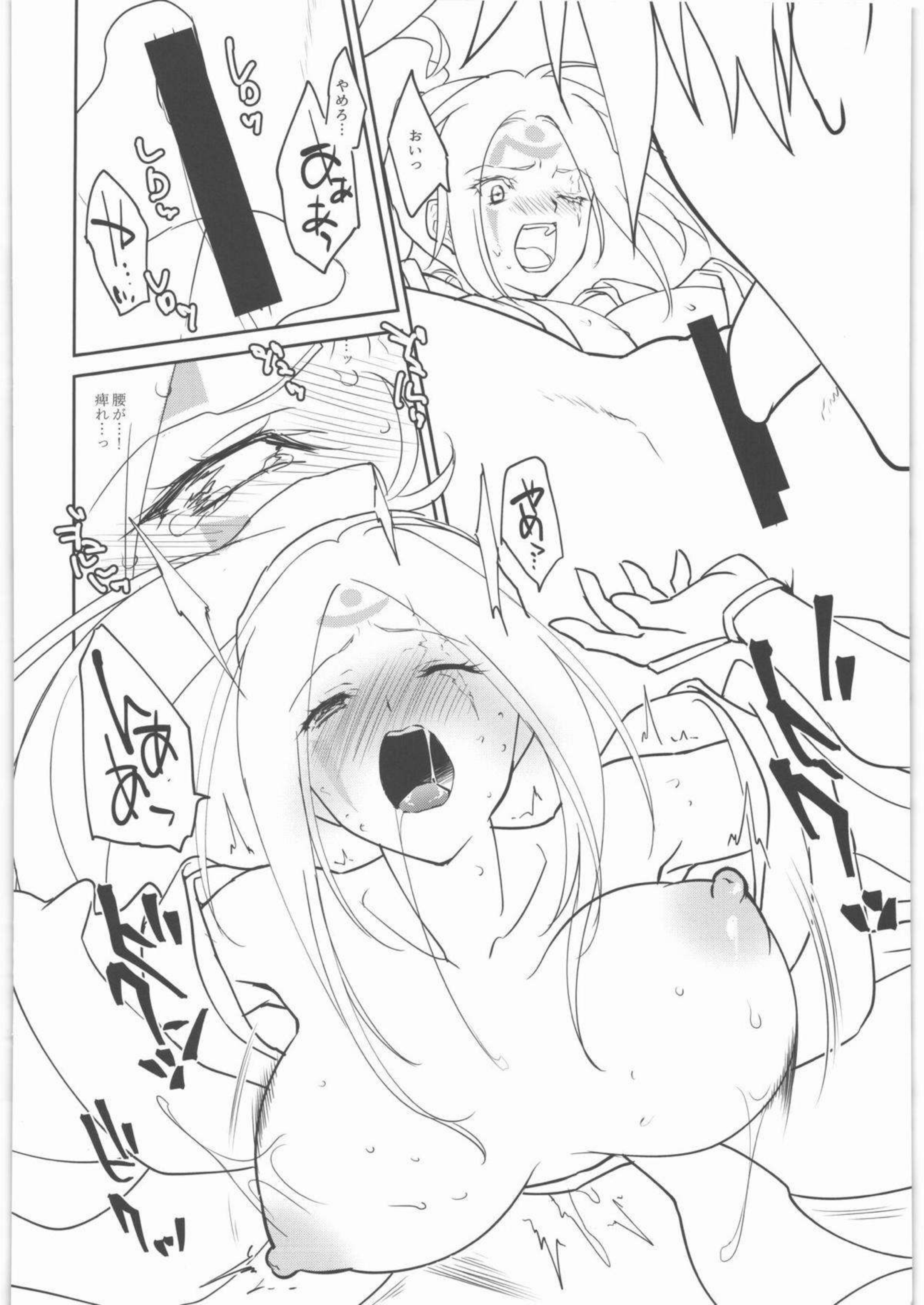
はぁ

はぁ

はぁ

ん...

はぁ



yes

やめろ...

おいっ

やめろ

yes

yes

痺れが...!!

やめろ...

やめろ

やめろ

やめろ



果てちまったか？

我慢したら
余計に感じる
だけだぜ



畜…生…っ



斬る…!

斬る…



やめろ!!

カッ

ド

ド

離せ!!

くっ

この...

やめろ

やめろ

やめろ

闇慈

やめろ!!

やめろ!!
やめろ!!
やめろ!!



おん...
おん...

なんだ...
やっぱり姐さん

女だったんだ

グ
グ
グ

おん...
おん...

ズッ...ズッ...ズッ...ズッ...ズッ...ズッ...ズッ...ズッ...ズッ...ズッ...

はは...

膣は随分と
きつい...ね

ぬ...ぬいて...
くれ...っ

無理だな

こんなに
柔らかくて
絡みついて

自分が
どうなってんのか...
解ってないのか?

こんなに甘い声...
出せるんだな

姐さん

あ...あ...
あ...あ...
あ...あ...
あ...あ...

ズッ...ズッ...ズッ...ズッ...ズッ...ズッ...ズッ...ズッ...ズッ...ズッ...





うっ...
離せ...っ

く...っ
力が...

い...
あ...
あ...
あ...

軽いねえ

...まだ解って
ねえのか
ほら よく
見えるだろ

入ってるぜ？

グチヨグチヨの
姉さんの
腫にまた





姐さん

具合 悦過ぎだ...ッ!

あぁ

あぁ

びん

びん

あぁ

あぁ

あぁ

あぁ



何て事...
しやが...っ

闇...慈...

びしょ...
びしょ...

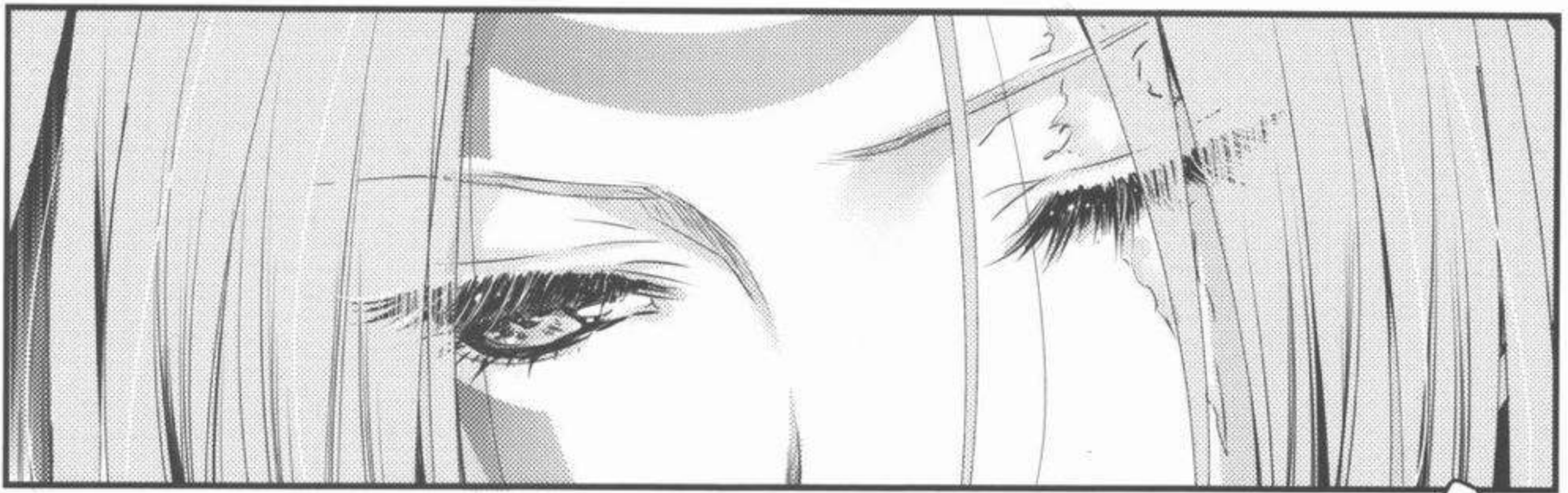
びしょ...

ぐわ...

大丈夫さ

俺が絶扇を
使っているうちは
そう簡単には
孕ませねえよ

ぐわ



その割に
震えてるぜ



…斬られてえのか



姐さん
怒ってるよな



これ以上
近づかれたら

な？

寄るな…

触るな

壊れてしまう

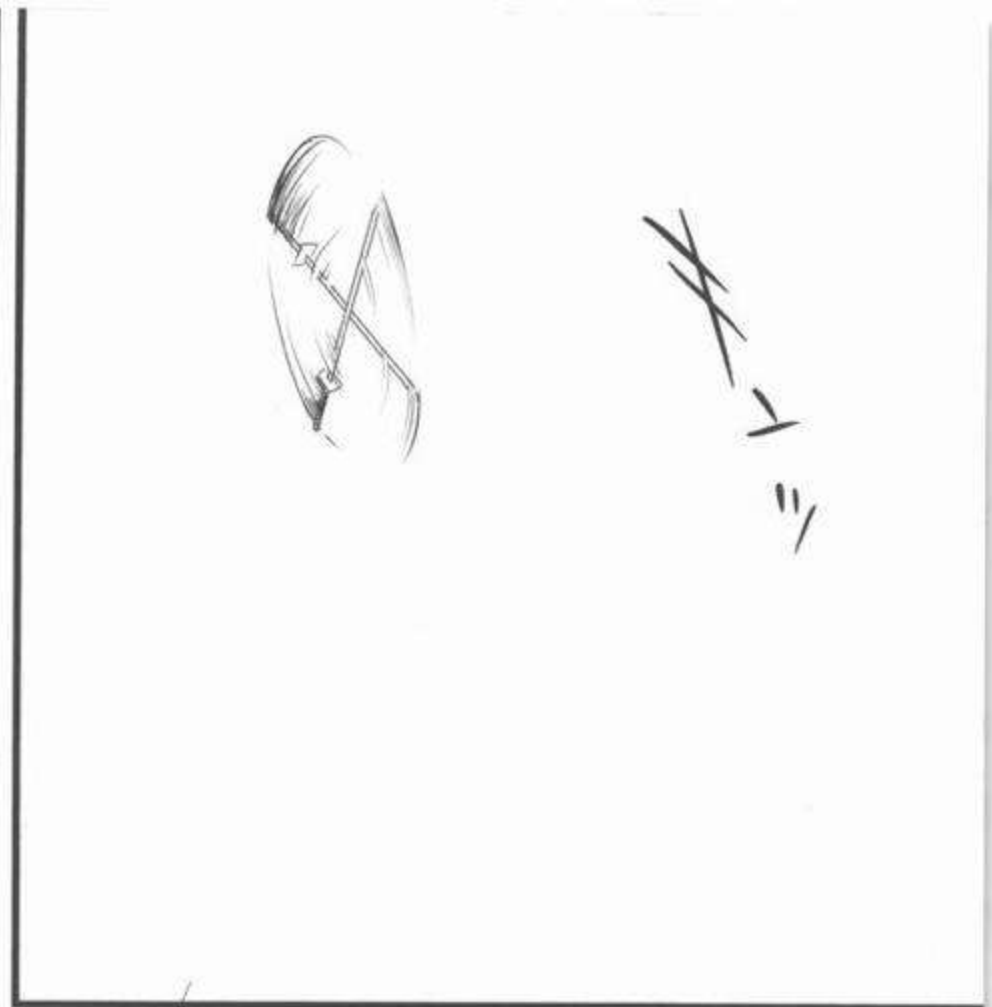


どうして…俺を

…気がつく
あの男の事だけ
考えてるだろ

その時の目も
独り占めに
させてくれよ

そうやって
反抗されると
また泣かせ
たくなる





うあう

ド!!!

無茶言うな

おっ...と
歯は立てないでくれ

顎が外れそう
なんだっての...!

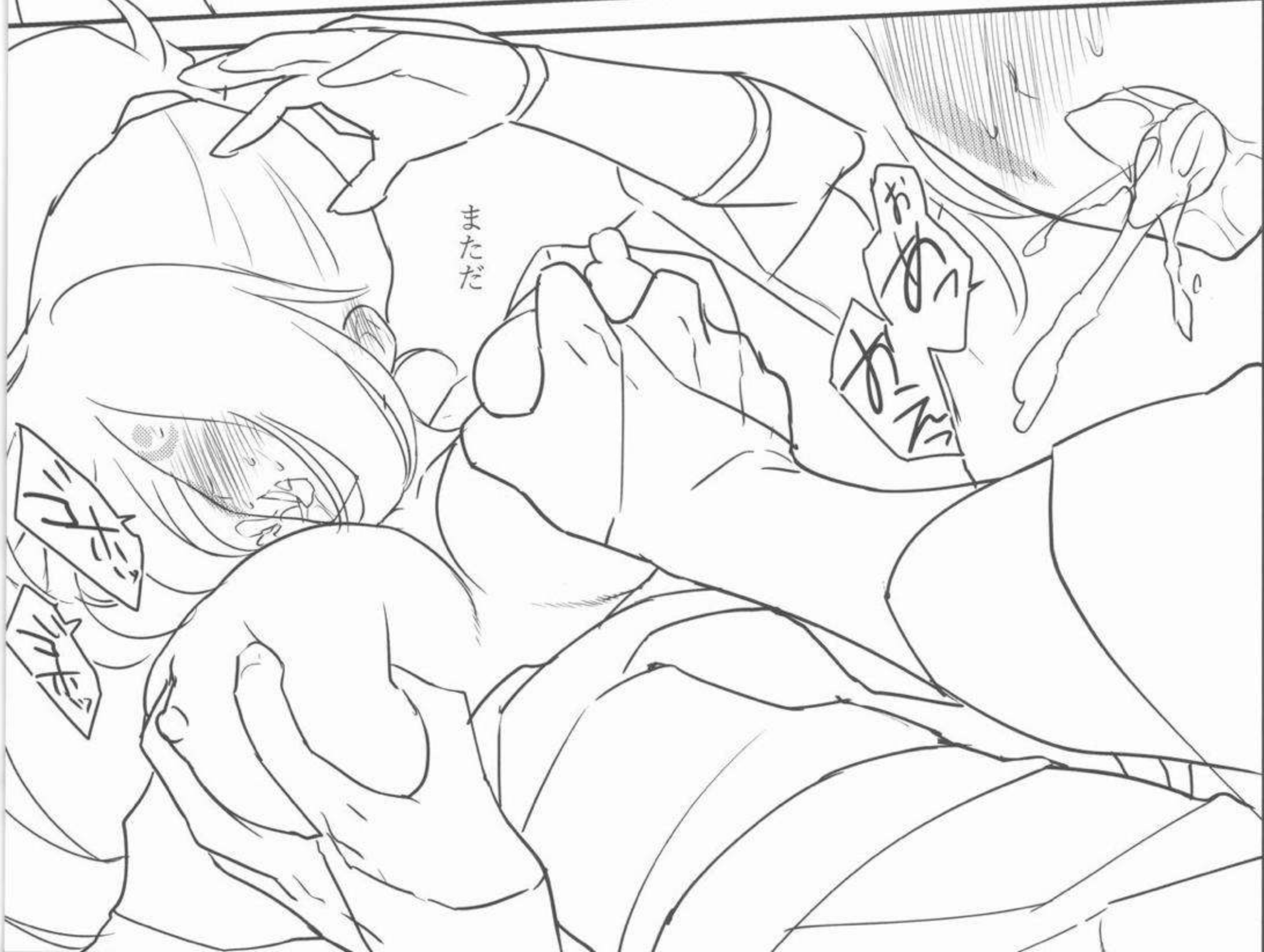
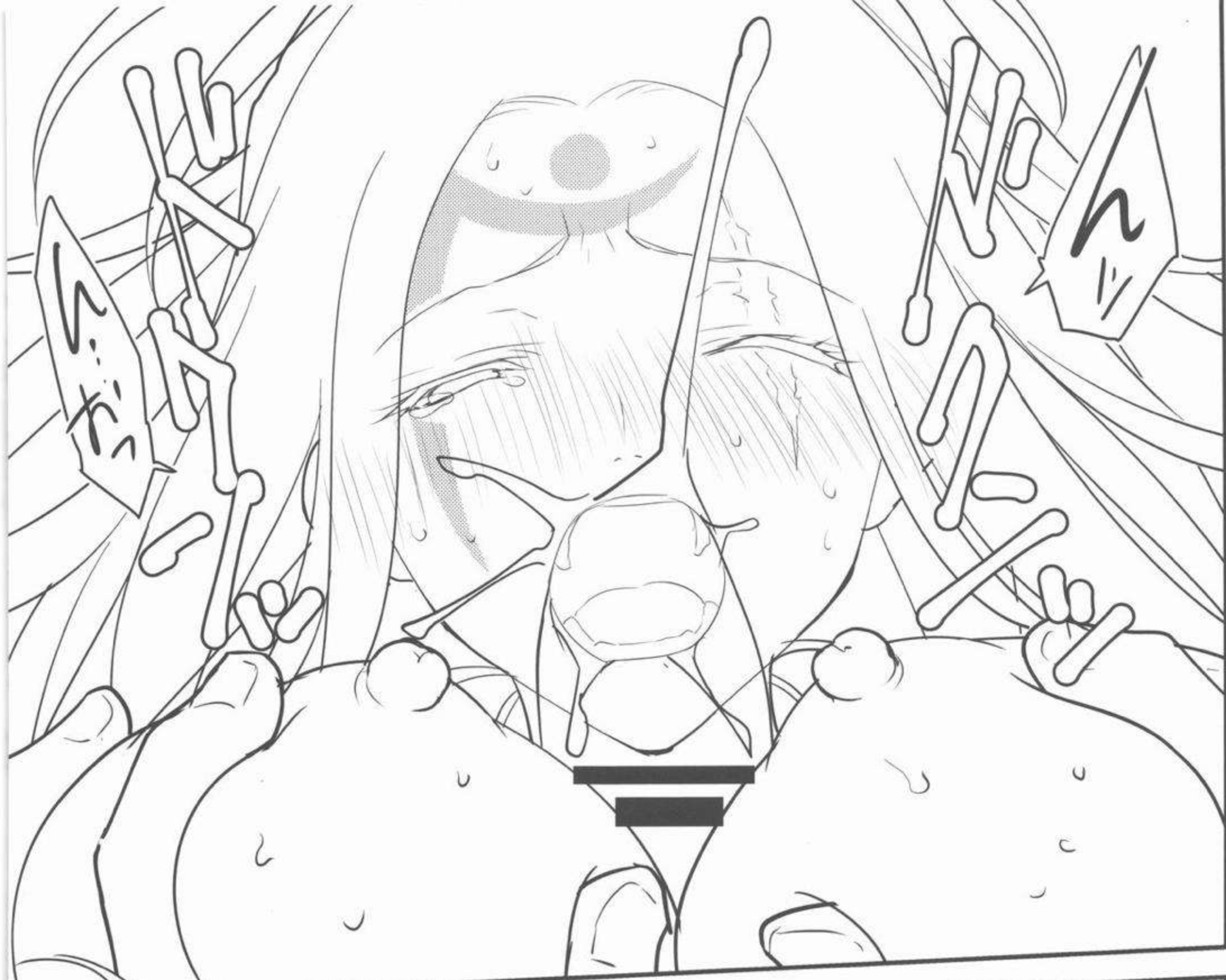
ほら舌
纏わりつかせて

し
し
し
し
し
し
し
し
し
し
し

おん
おん
おん

し
し
し
し
し
し
し





まただ

ズル...



暗器も...刀もある
筈...なのに...

身体が...!

どうして
こんなに





俺を…
俺の中を…

滅茶苦茶に
しゃがって…!!



いつもみたいに
反撃しない
のかい？

お…まえが！
変な事する
からだろ！



姐さん…
誘ってんの？

じゃあ
ちよいと確認
してみるか

姐さんの
腹を

此処で感じ
てんのかな

う…っ

…!!



あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ...

大丈夫かい？
ここまで
本気汁出して

く...そ

何も...
考えられな...



アアアア

ふふふふ

んんんん

はっ

いいねえ

こんなトロトロな
姐さん見た事ない

じゃあ
こうすりゃ
いいだろ？

…可愛い
ねえ
自分の女の声
受け入れられ
ないんだ

俺…っ
じゃねえ…っ

こんな…っ！
あ

んんんん

んんんん

ア

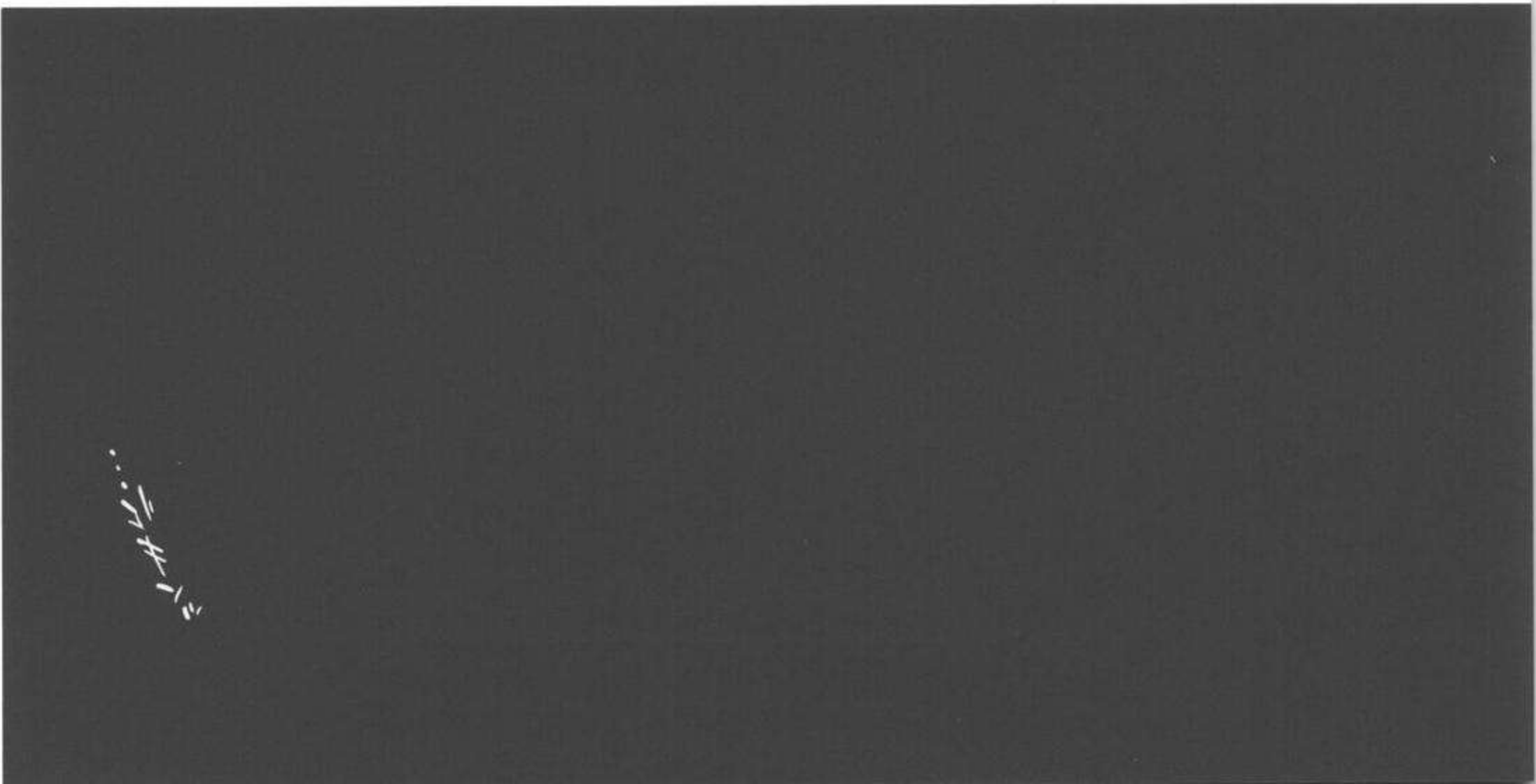
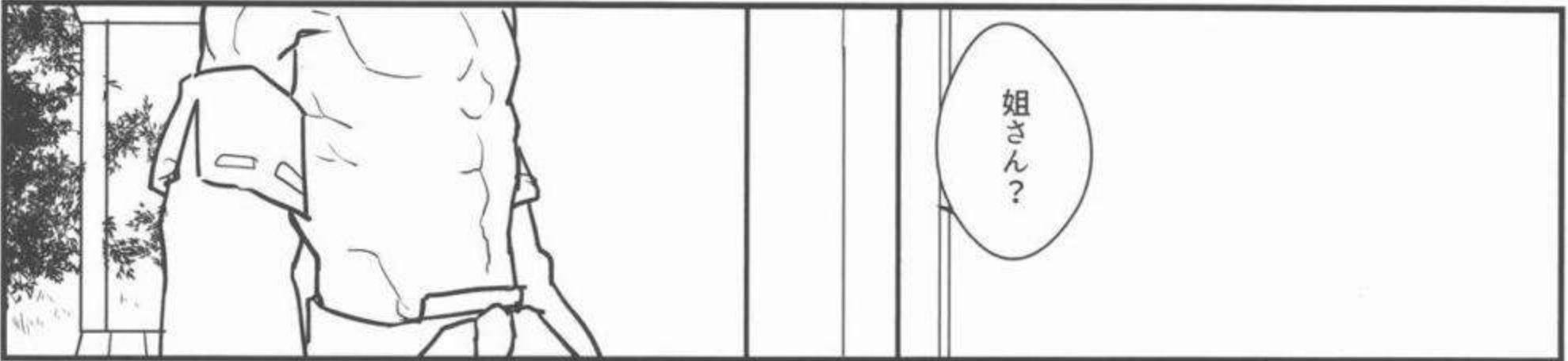


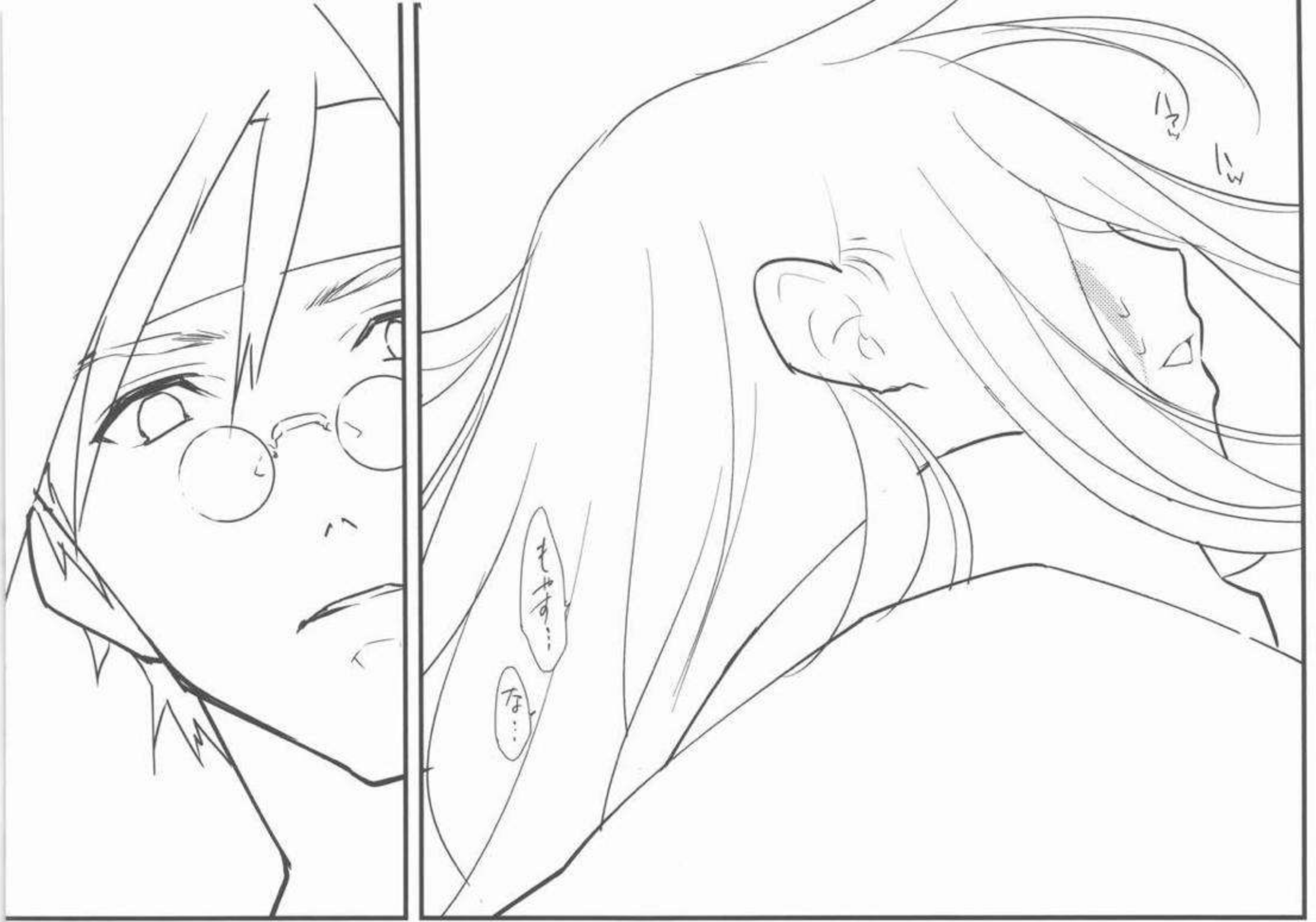
どんなに粗暴に
なったところで

捨てられる訳
ねえだろ！

壊れる……っ

女の感覚
しっかり
覚えような

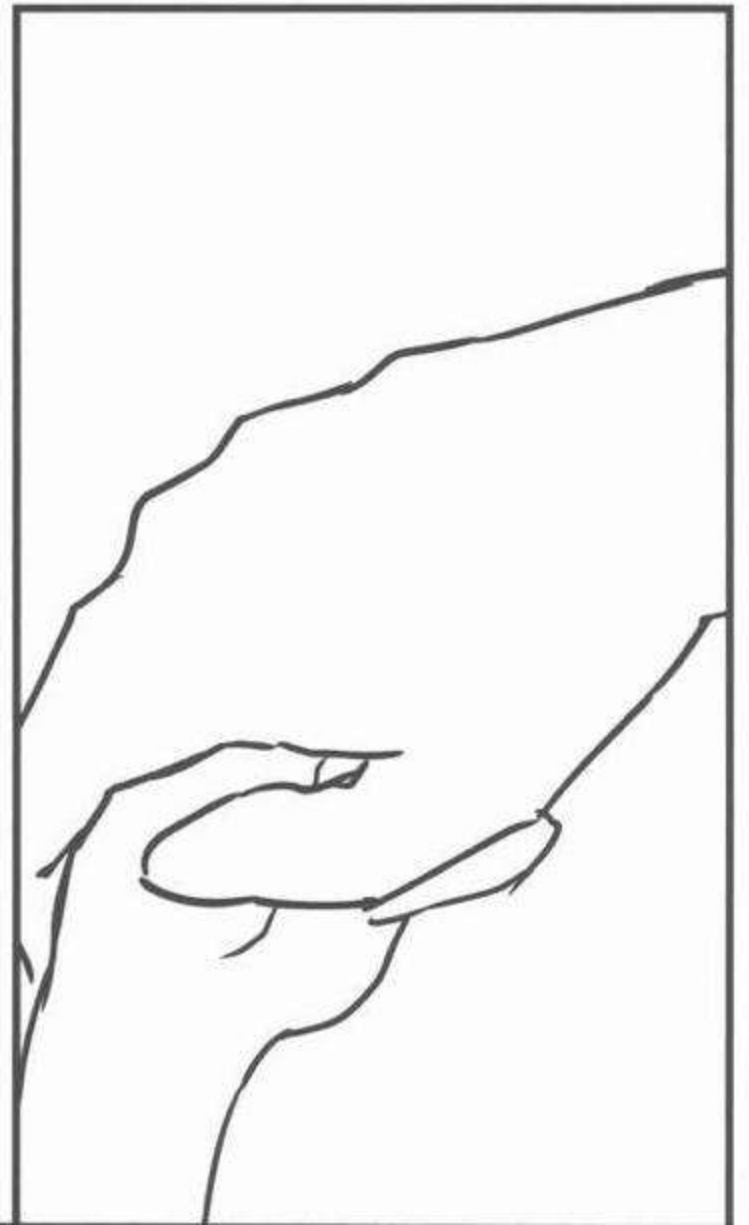
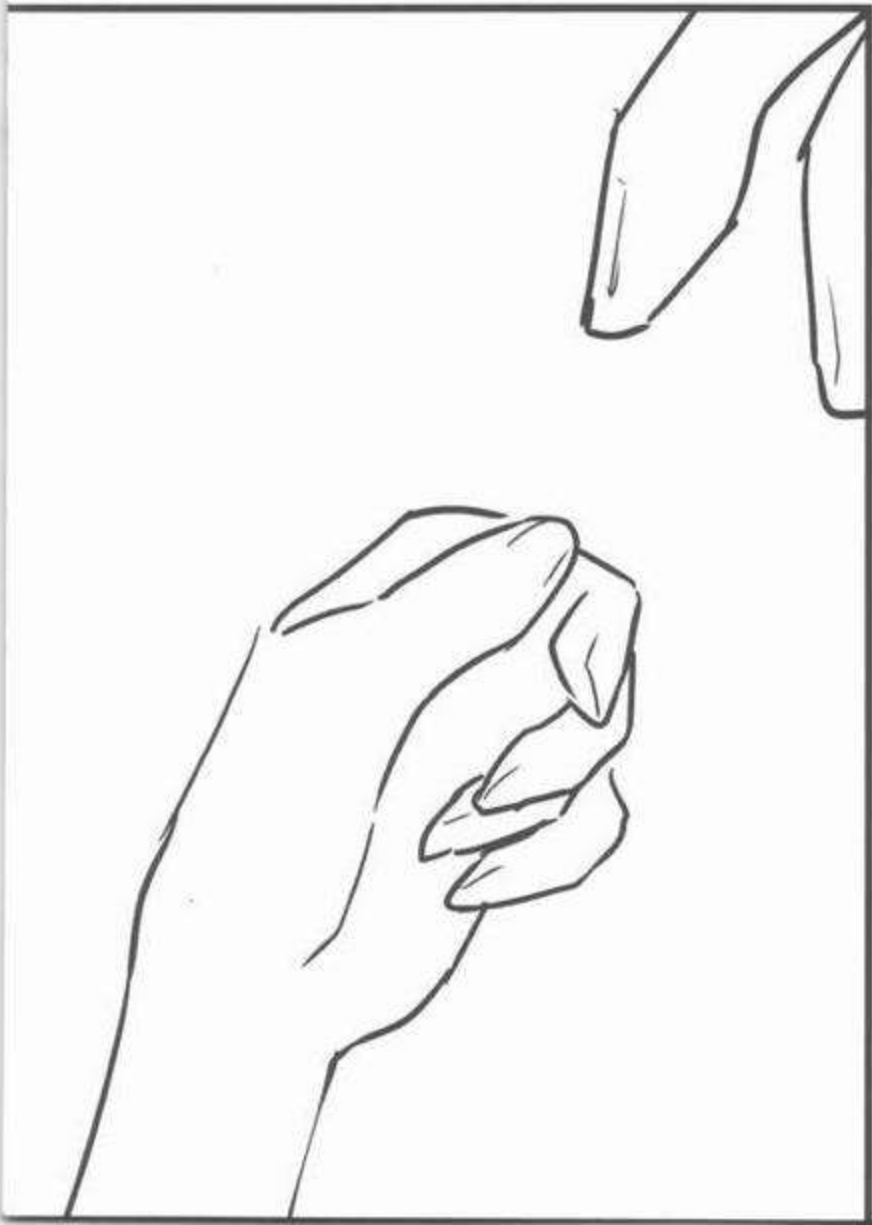




最初から
何も燃えてない...

此処には
何も無いよ

姐さん





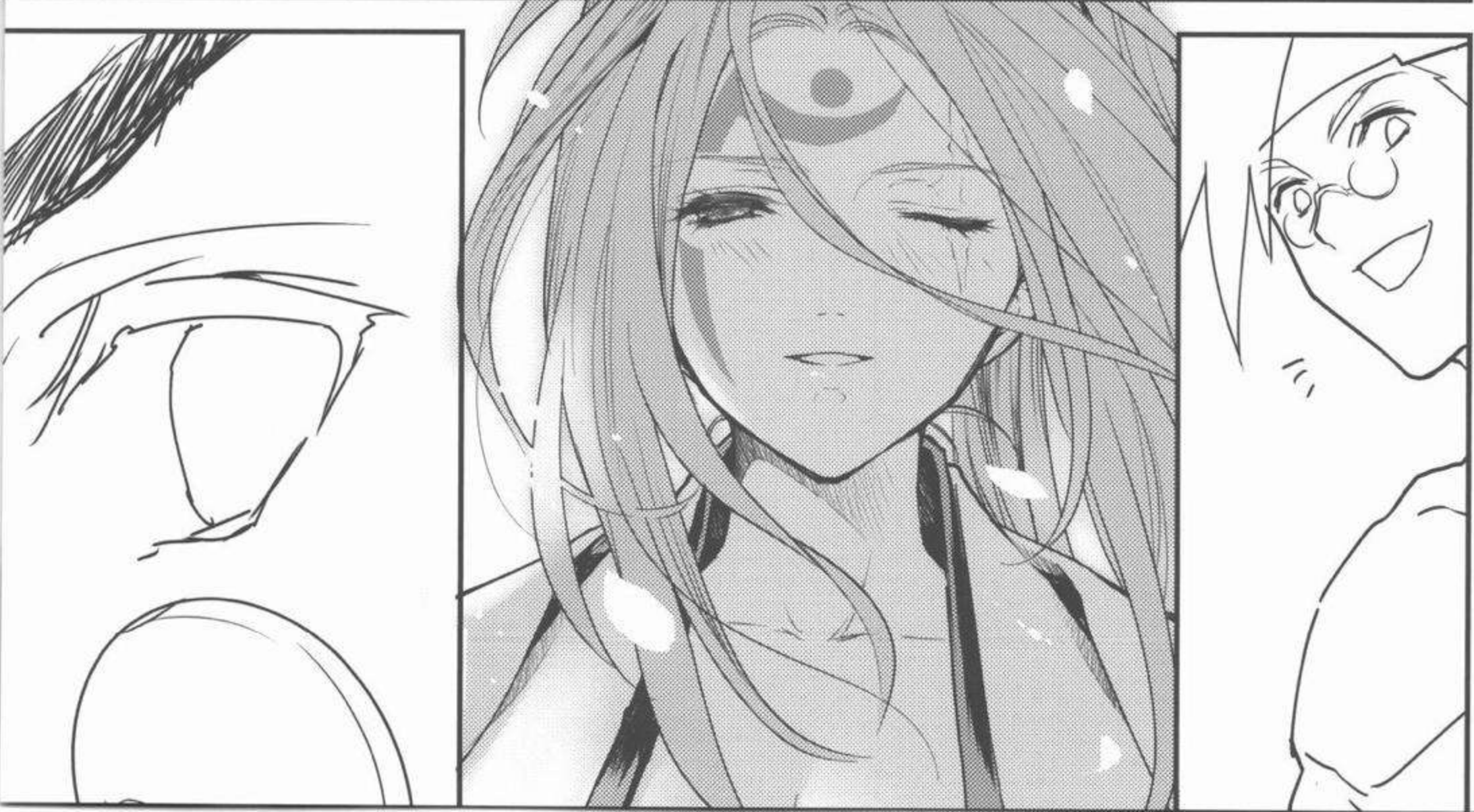
△

○

○

○

○







観念しな!

こんなに
うねらせて

なあ

いっせー
いっせー!!!

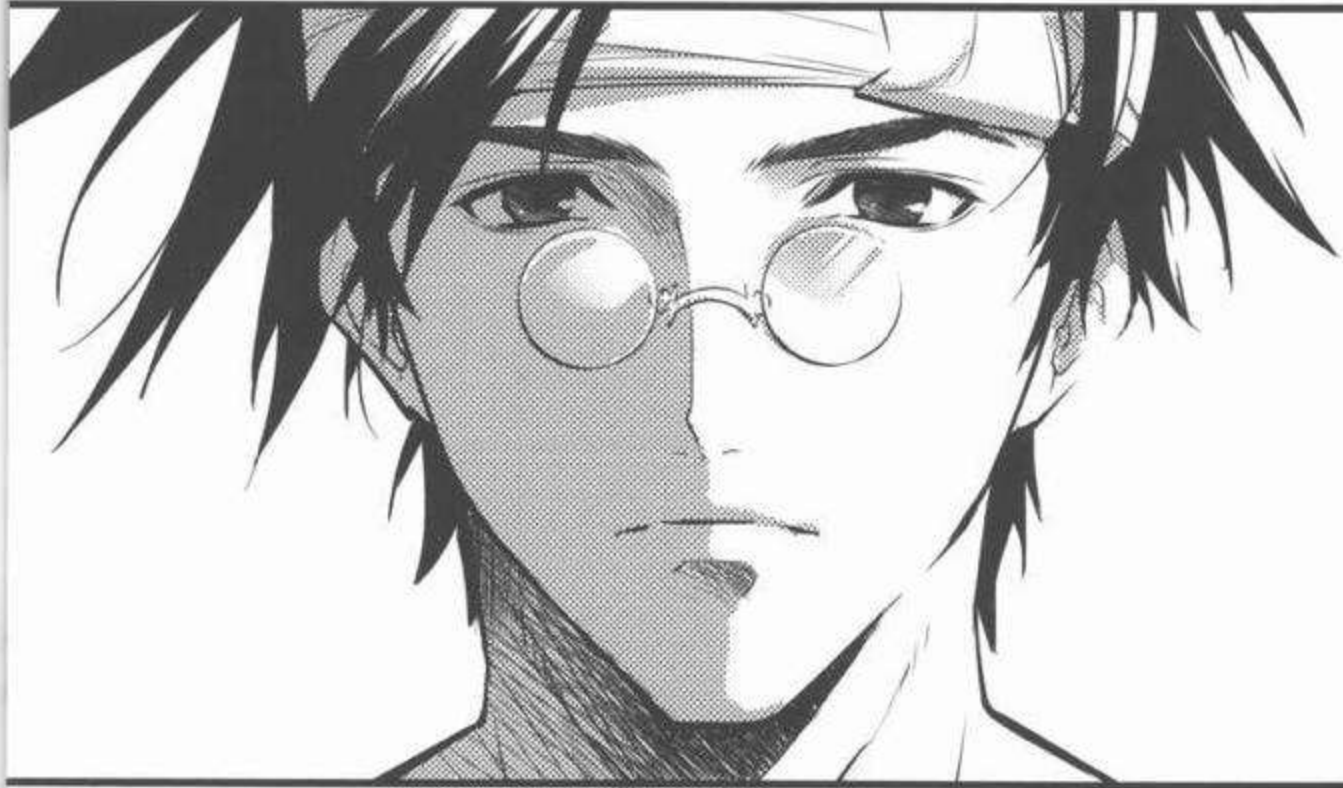
前も後ろも
攻められるって
どんな感じなんだ?

ア

ア
ア
ア

ア
ア
ア

独りにさせてくれ



お前と居ると
絆されちまう…

いつも穏やかで…
激しくて

…気持ち…悦く…
なっちまう…



頭ん中
グチャグチャで

もう壊れそう
なんだよ……!

俺が
俺じゃ……

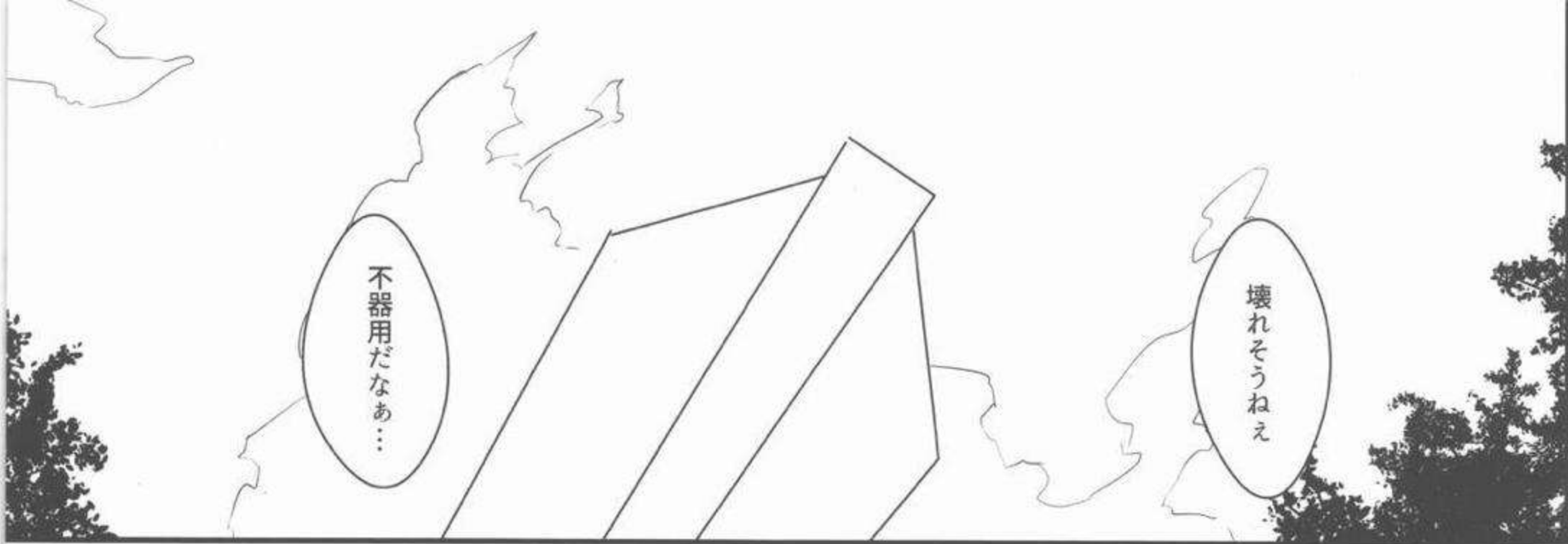
なくなる……



解った

でも俺は
姐さんを
死なせた
くは
ないから

無茶でもするなら
すっ飛んでくからな

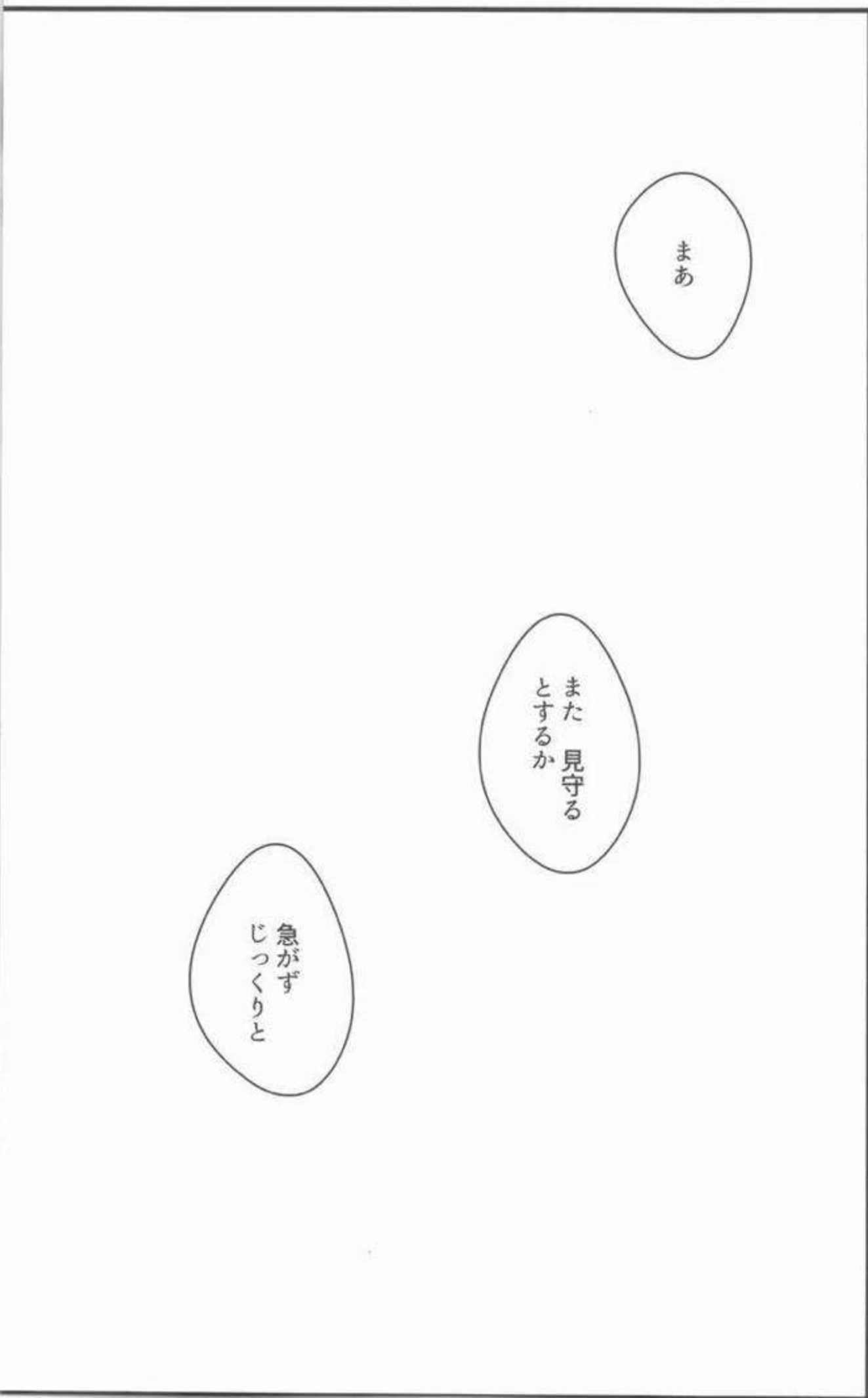


不器用だなあ...

壊れそうねえ

そういう
気持ちって

もしかしてさ



まあ

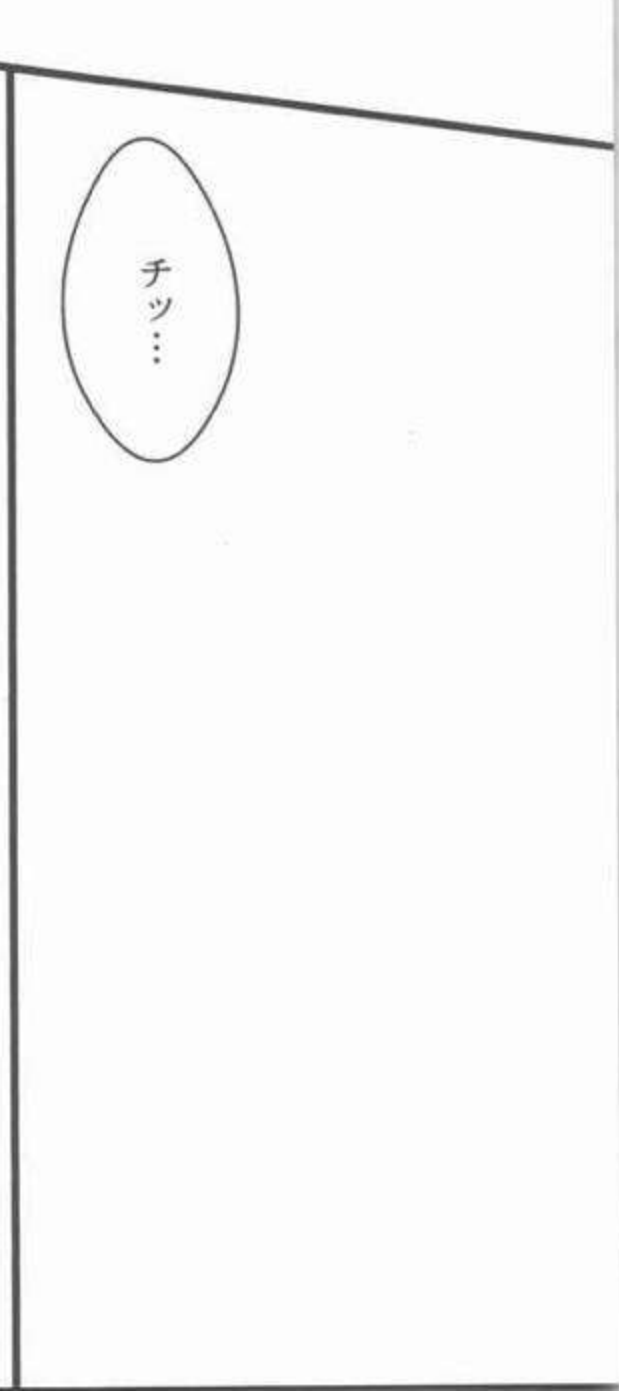
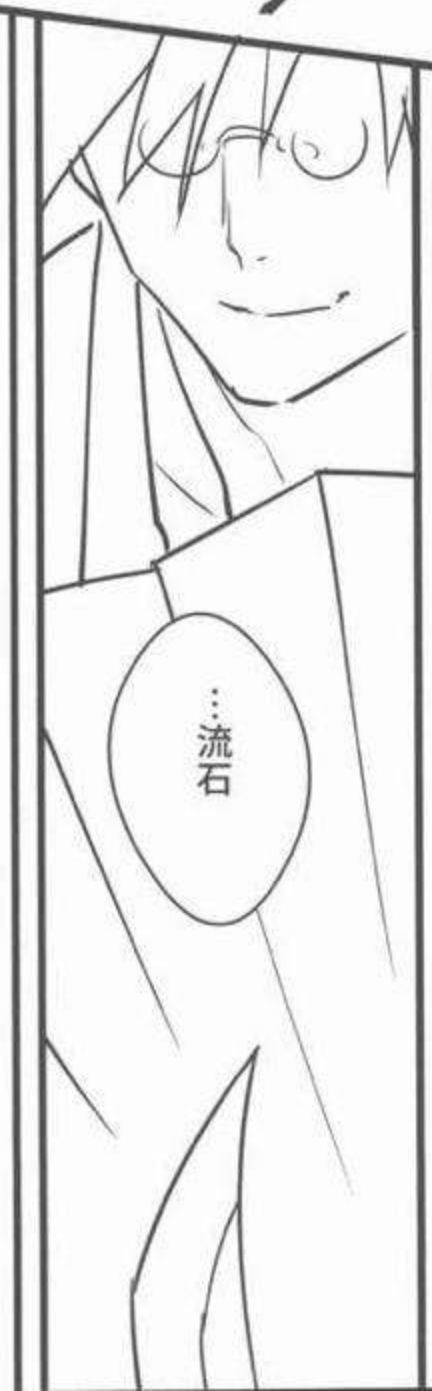
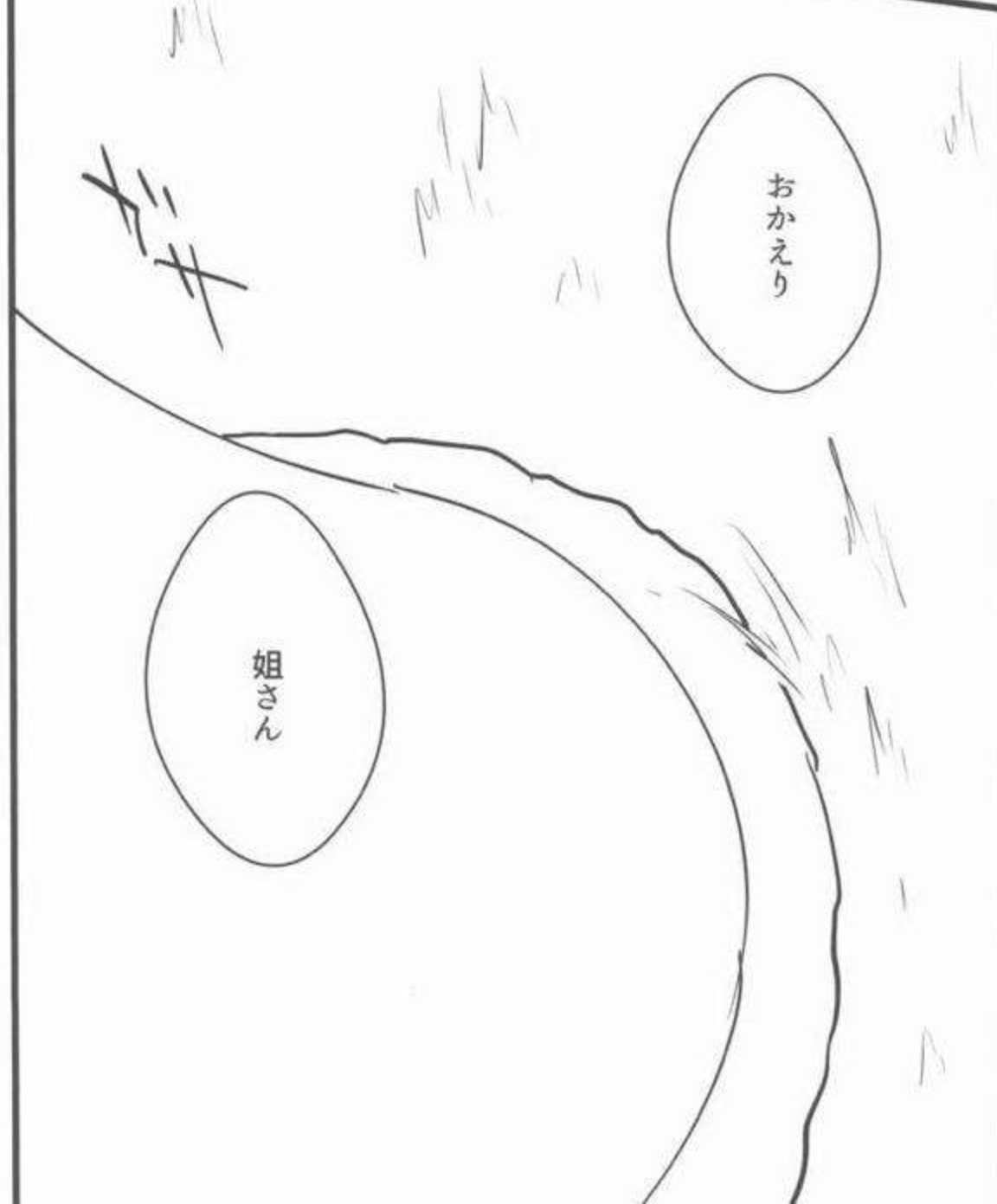
また 見守る
とするか

急がず
じっくりと









姐さん

おかえり

…流石

チツ…



んうっ

あら
これはまた



いつからこんな
いやらしい物を
纏う様になったのかねえ



はう…っ

はう…っ



簡単に
解けちまうぜ？

！

食い込んで
滲みが
付いちまうし

ぐわぐわ...

おっ



場合によっては…
お前を斬る

相変わらず
手癖悪いな…

好きに出来るのも
今のうちだ



そんな事
言う奴も…



髪…
長くなったな

あ…

切る奴も…

居ねえし…



左目
見せてみな



今の姐さんも
良いね

でも小さくて
柔らかいのは
あの頃のままで

うん
知ってる顔だ

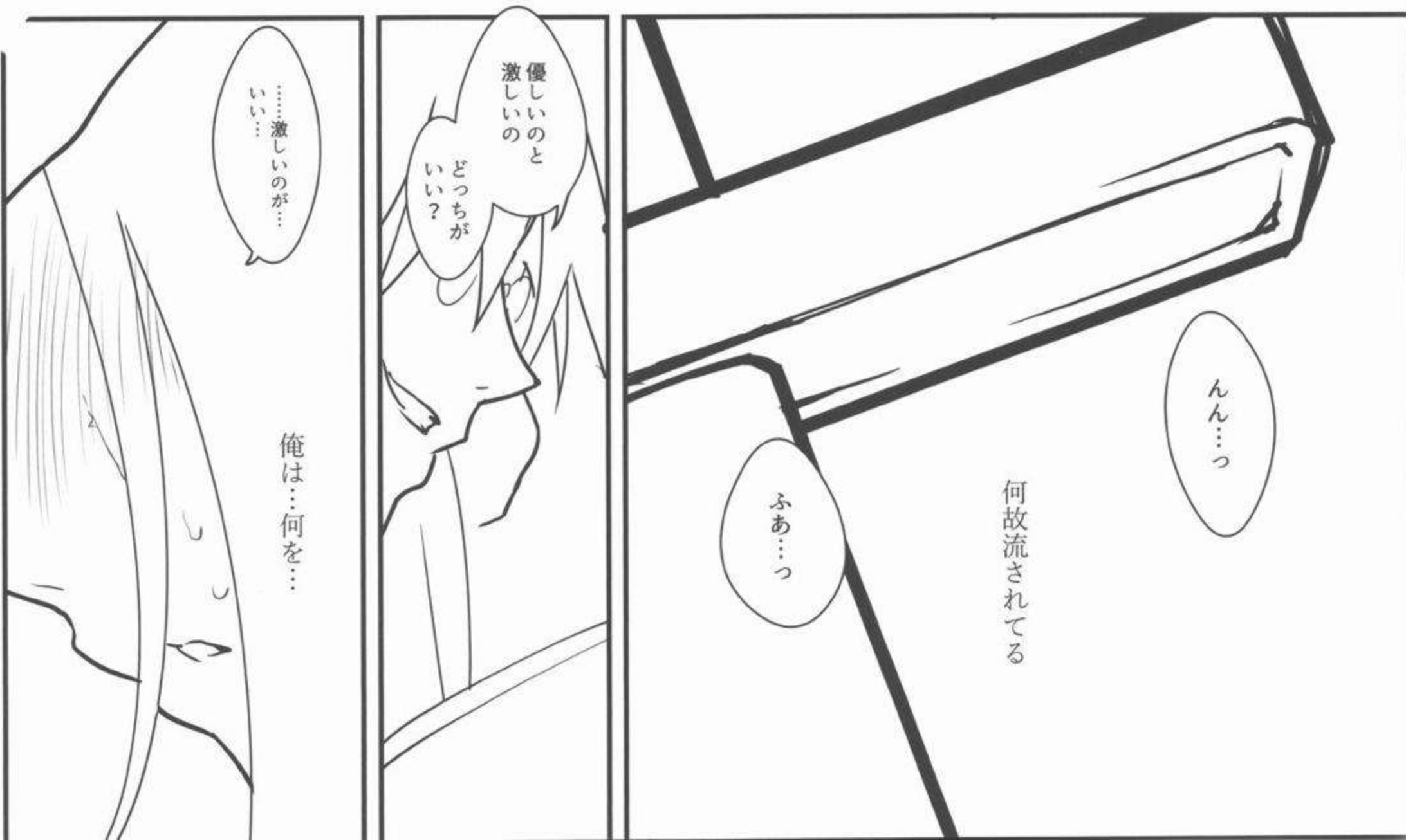
…何して
んだよ



あーここは
小さくもなかったな

…っ

ふっ



…激しいのが…
いい…

優しいのと
激しいのと
どっちが
いい？

んん…っ

何故流されてる

ふあ…っ

俺は…何を…



じゃあ
しゃぶれ

…舐めたい

…少しだけだ
少しだけ

ああ…
懐かしいな

舐めたい
触りたい
飲み込みたい

この感触

味

匂い

お…やけに
従順だな

そんなつもり
じゃねえよ…



クツ...

ズツ
ズツ

のめり込みすぎだ

早く昇天
しちまえ

ん...

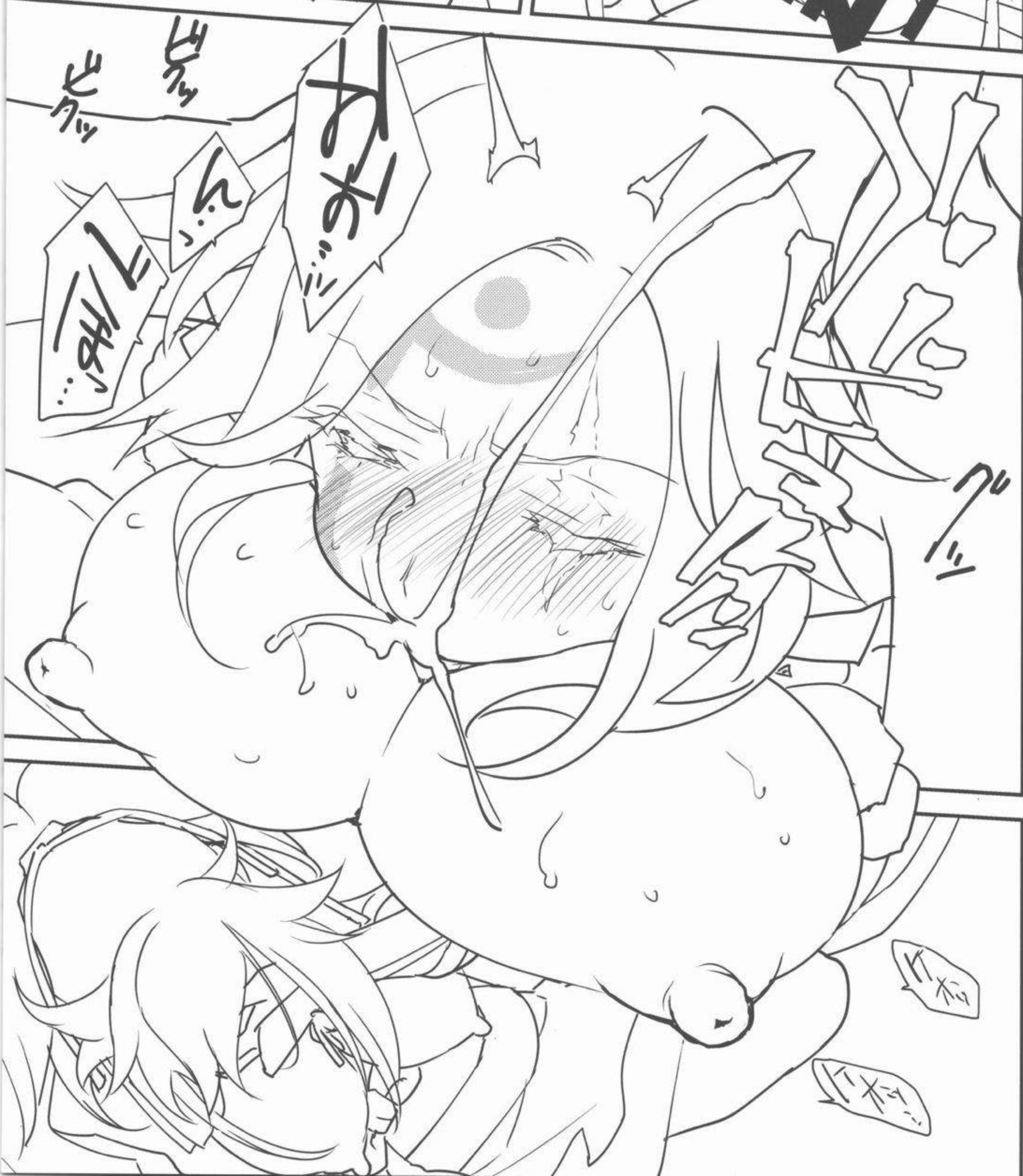
だがそれじゃあ
足りねえな!

奉仕して
くれる
なんてねえ

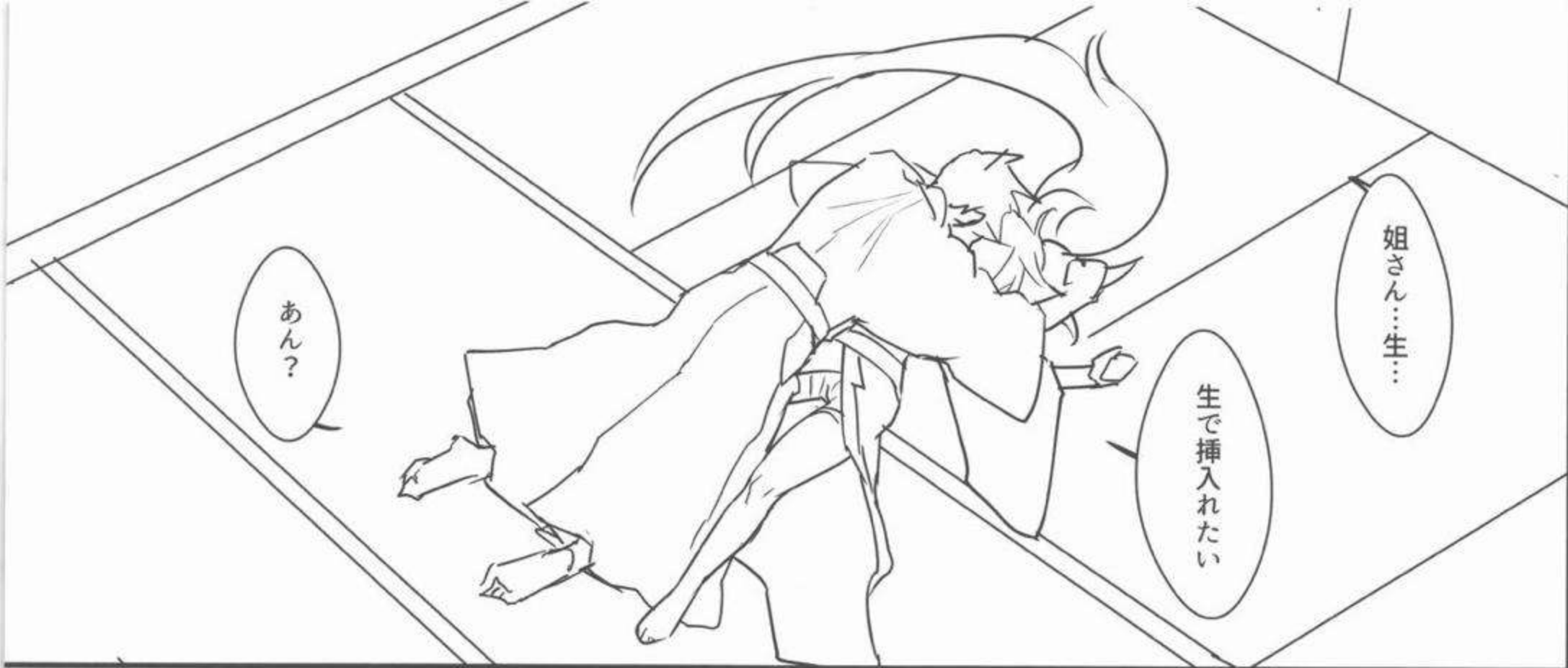
ガッ

ぬ...









姐さん…生…

生で挿入したい

あん？



そんな事より…！

あの男の情報
まだ何か隠して
るんじゃないのか！

テメエが話を
丸め込んでくる時は
大抵怪しいもんだ…！

だからこんな
昔みたいに…



孕め

孕んでも
犯し続けてやる



あの男

あの男…ね

…！
熱い…



復讐を……!!

お俺は
まだ

あっ…



じゃあ何故
本気で
拒まない



壊されたい
癖に

狡いだろ



あっ…



そんなのを前にして
我慢なんて
出来るかよ...ッ

俺に滅茶苦茶に
犯されたい姐さん

ほら

すぐ挿入る

相変わらず
濡れやすいんだな



姐さんの全部
壊してやるよ

誰が喋って
いいって言った?

さ...わ...
るな...っ

テメエ
なんか...!

おん

おん

お?
結構奥まで
入るねえ

はー..
ヤバいな

おん
おん

おん...

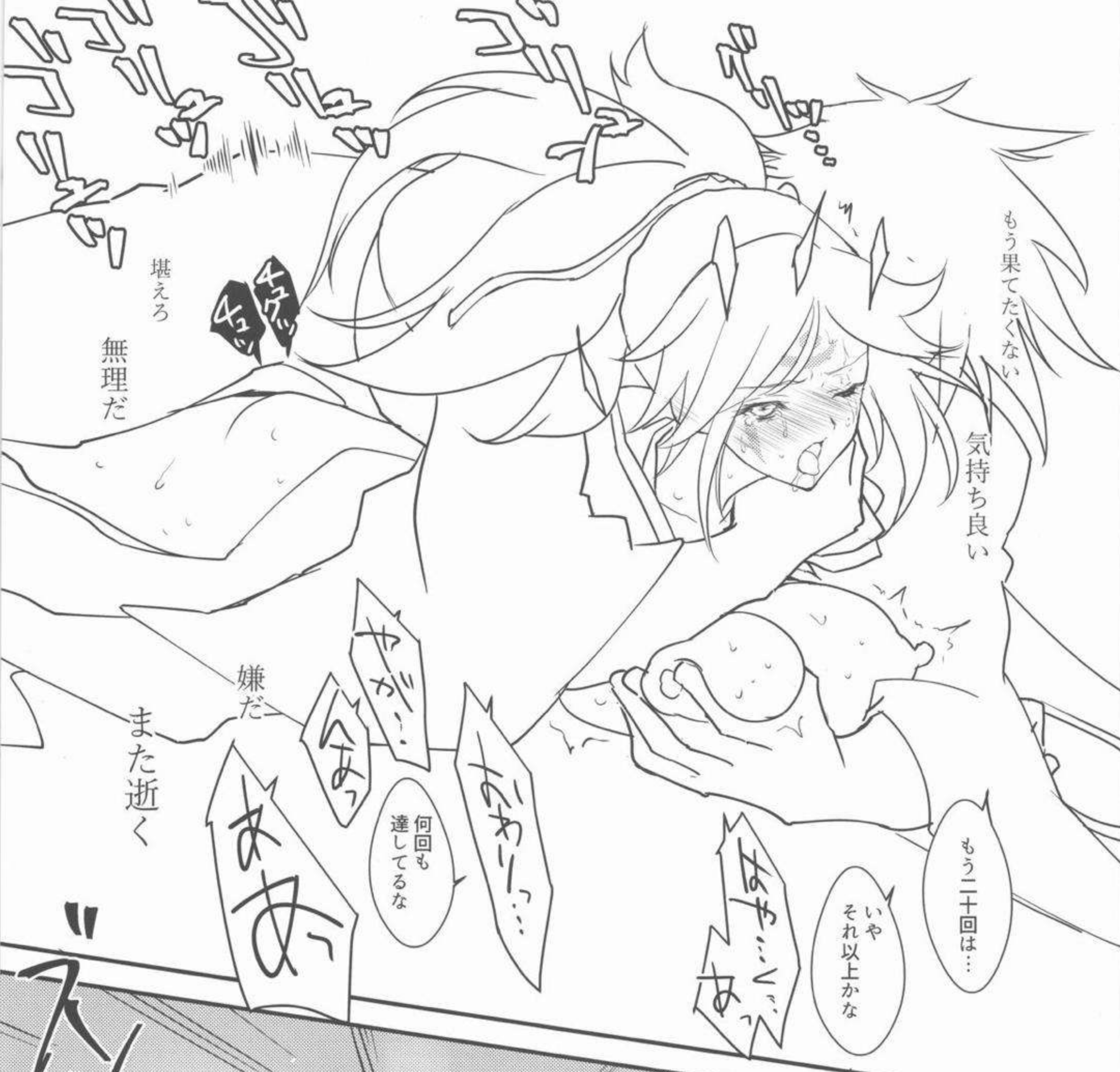


ここ締まるな!



うおっ...





もう果てたくない

気持ち良い

堪えろ

無理だ

アッ
アッ

嫌だ

また逝く

何回も
達してるな

もう二十回は...

いや
それ以上かな

ス
ッ



くれてやるぜ!

お望み通り
激しい奴

アッ
アッ

アッ
アッ

ス
ッ

ス
ッ



あーあーあー
あーあーあー

あーあー

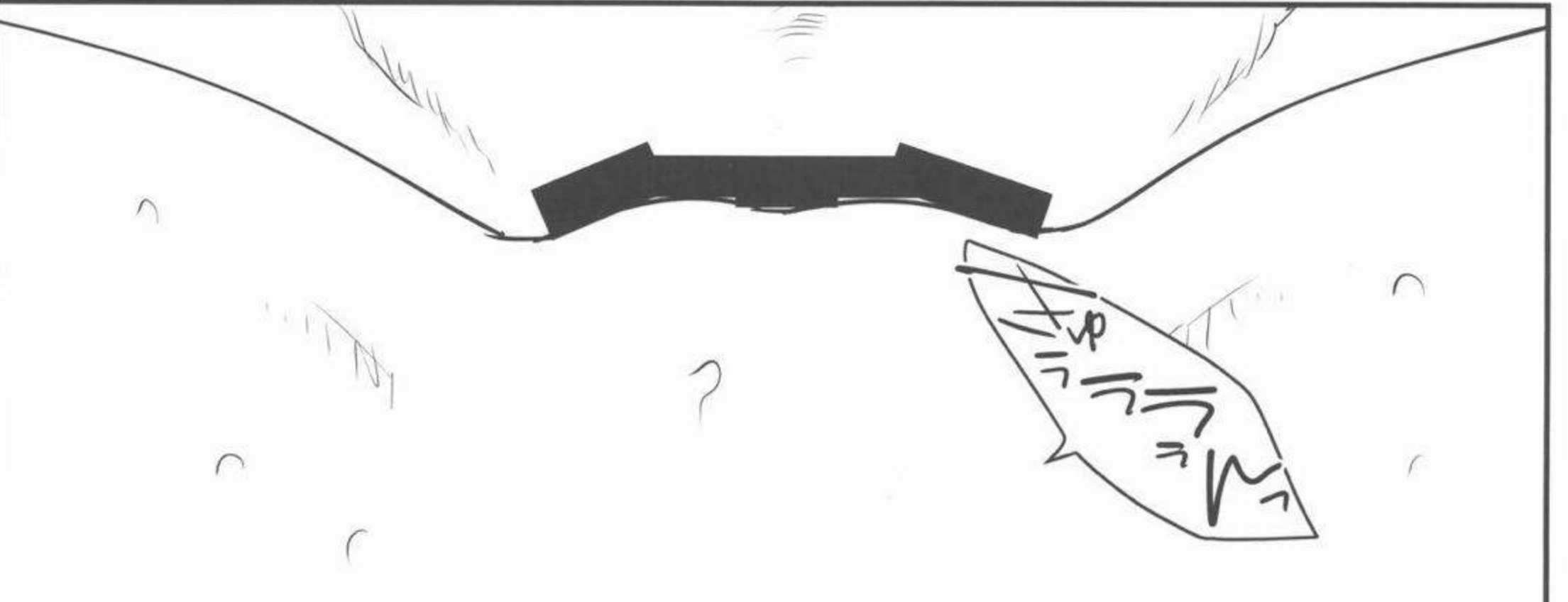
あーあー

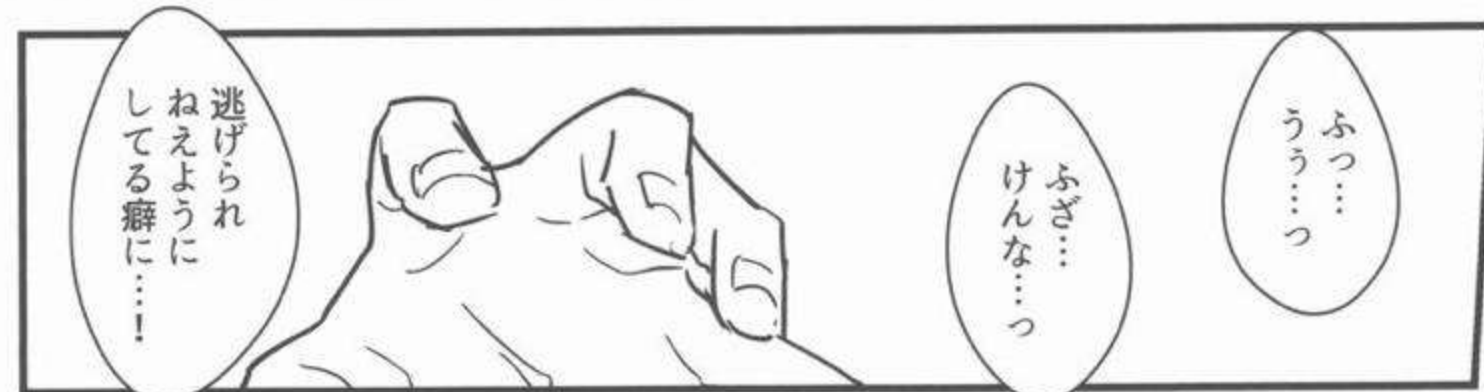
好きに
させて貰うぜ

姐さん

…悦過ぎて
気を失ったか

ガッ





おっ

また腹ん中で
当たって...!

くっ...

頑張るねえ

女の腰遣い

出来てるぜ

横向いて俺と
目を合わせない
ようにしてるのかい？

へえ...

んんん...

んんん...

んんん...





もう限界だ...

こいつ... 逝かせる気だ!

何を躊躇ってる?

ろッ!

あ あ あ

あ あ あ

あ...

な... 何で...! 乳が...っ

!?

姐さんは本当に其処が好きだねえ



驚くなって

ちよつとばかり
気の巡りを
良くしただけだ

ま：感度の高い
姐さんには
必要ないかも
しれないがね

あッ
あッ
あッ
あッ
あッ
あッ
あッ
あッ

びび

アッ
クエッ
クエッ
クエッ

やらしいねえ
乳を飛ばしながら
また昇天するなんて

あッ
あッ
あッ
あッ
あッ
あッ
あッ

わんわん
わんわん



今俺に突かれて
果てただろ

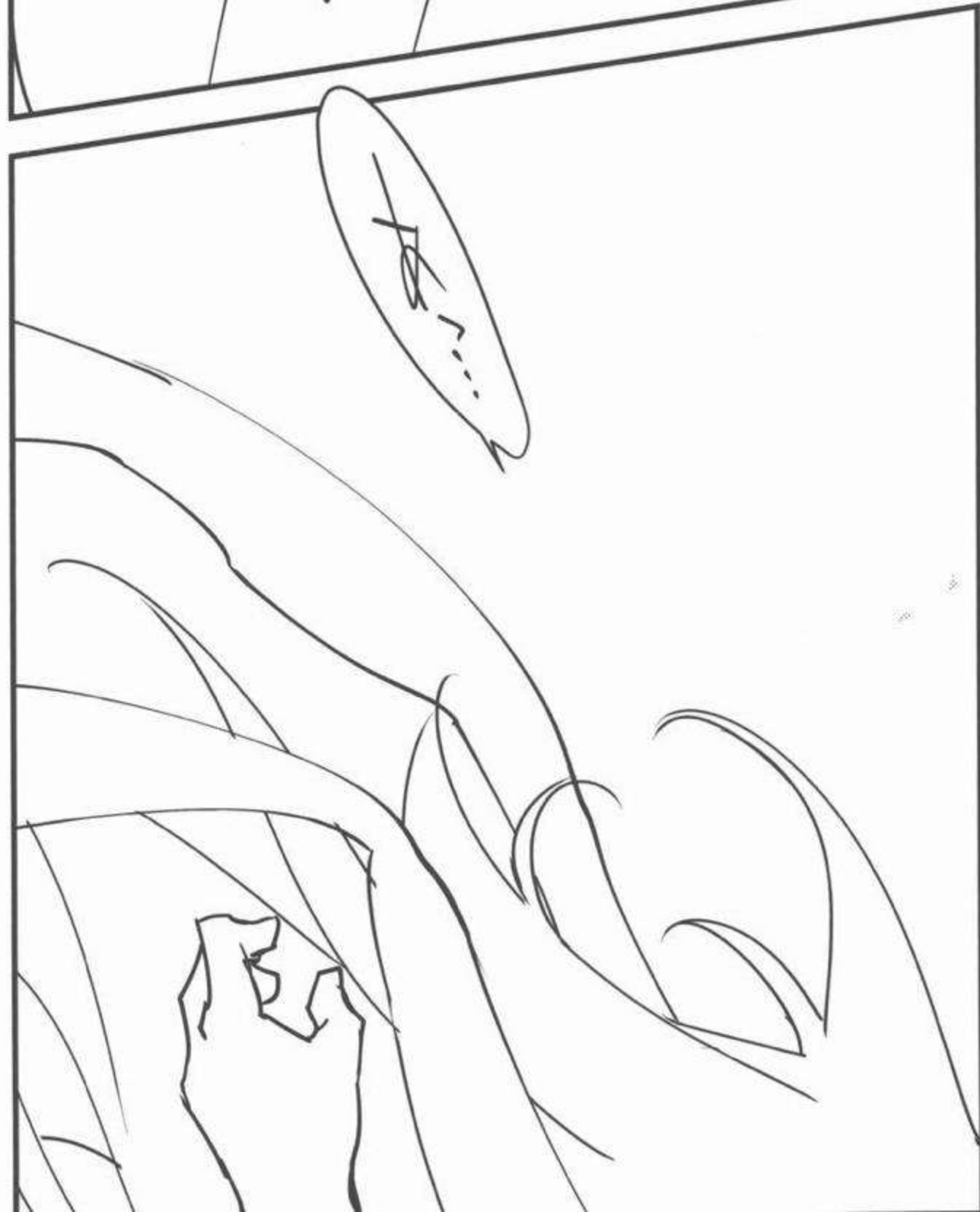
だけど…!

くうっ…

これ以上は…
本当に…っ

も…いいだろお…っ

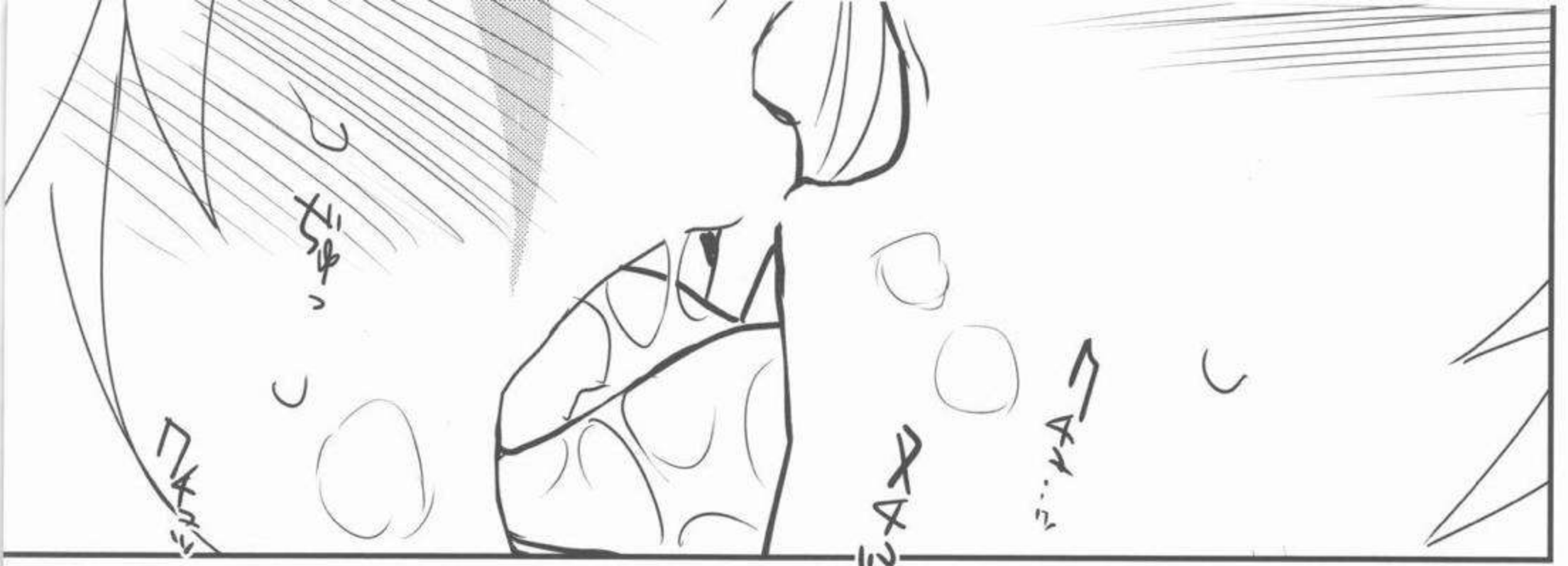
しかしなあ



くうっ…



孕んじまうかも
しれないね



俺は姐さんの
生きる理由に
なりたい

その前に

…いつか絶望する
かもしれない



…閻慈……？





前だって
本気で抵抗は…

無頓着か
思ってた
のだが

女を認め
ちまう
ような話



独りじゃ
断ち切れ
ないから
止むを得ず
力づくでも
女にされる為

それで俺の処に

また
迷ってんだな

ああ…
絆されるって
そういう意味

ちが…!

ON
OFF

ON
OFF



ふざけてんのは
どっちだッ!

だけだよ
自分から
来ておいて

あーあーあー

そんなに
孕みたかったのかい
姐さん

くっくっ
搾り取るねえ

あーあーあー





早く…
引かねえと…!!



…引く…?

今更
何処に…



俺を恨めよ

姐さん

ク

ク



うおっ
浅...っ

子宮が降りてる

突かれる度に
果てちまつてんのか!

駄目だ!?

締めつけながら
まだ吸いついて
きやがる癖に...ッ

クッ

ズッ

ズッ

ズッ

ズッ

おはよう

カハカハ

おはよう
おはよう
おはよう
おはよう



大人しく孕め……ッ

おはよう







俺…

父上…母上…

壊されちまった……

ちりぬともよし

発行日：2018年8月12日

発行者：aicalot*天春 Twitter*@amailohalmachi

印刷所：有限会社金沢印刷様

※無断転載・インターネットへのアップロード・オークションへの出品等禁止

後日、完全版をWEBにて全ページ公開予定です。



2018 SUMMER
COMIC MARKET 94
a i c a l o t